



# マルチテナントでコストを最小化 AXシリーズのADP(アプリケーションデリバリパーティション)機能



## THE APPLICATION PLATFORM ソリューションブリーフ AXシリーズ

### ■ 課題

サービス事業者は、日々変化する顧客ニーズに対応するためサーバやネットワーク機器といった設備を継続的かつ柔軟に準備する必要があります。従来は、新規サービスの開始に伴って新たに機器を手配していたため、追加の機器コストやサービス提供開始まで長い期間が必要となっていました。それに加え、追加ハードウェアの維持にかかるスペースや電力、保守費用等のランニングコストを別途確保する必要もありました。もし新規サービス提供時に一台の機器を仮想的に分割して複数のサービスに割り振ることができれば、サービスごとのハードウェアにかかる機器コストが不要になり、しかも迅速にサービスが提供できるようになります。これによって柔軟かつコストパフォーマンスが高いサービスを提供することができるようになり、ビジネスの優位性が高まります。

#### コストが増大！

イニシャル・ランニングコスト  
(電力・スペース・保守費用) が必要

#### 短期間でサービス提供したい

新規サービス用の機器の手配、環境  
構築まで長い期間を要する

#### サービス毎に機器を用意？

利用用途が異なる場合、それぞれに機器を  
用意しなければならない既存機器の  
余剰部分をうまく利用したい



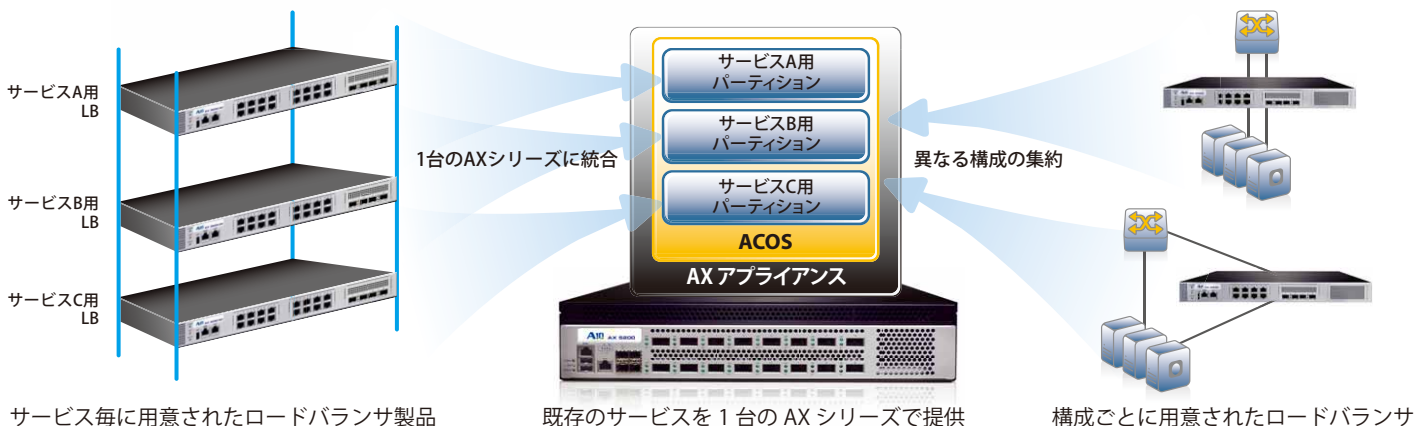
### ADP(アプリケーションデリバリパーティション)

一台のAXを仮想的に分割して、機器コストや導入期間を最小化

### ■ ADP(アプリケーションデリバリパーティション)機能概要

AXシリーズが提供するApplication Delivery Partition(ADP)は、一台のAXを仮想的に分割して複数のサービスで使用できるようにする機能です。各パーティションでは、それぞれ管理機能、アプリケーションリソース、ネットワークリソースを独立して管理しており、パーティション毎に各リソースを割り当てられるため、他のパーティションへ影響なく安定したサービスの提供が可能となります。

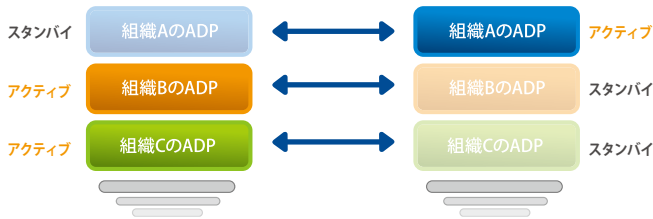
- ▶ 集約しても余裕のパフォーマンスで安定したサービスを提供
- ▶ 省電力、省スペースによる大幅なコスト削減を実現
- ▶ パーティション単位のHAにより、サービスの集約と耐障害性の向上
- ▶ IPv4とIPv6の共存
- ▶ 64ビットAXシリーズを使用する全てのユーザが追加ライセンスなしで利用可能
- ▶ 異なる構成を集約
- ▶ 既存のアドレス構成を維持したまま集約が可能



## ■ パーティション単位の冗長構成

ADP機能では、パーティション単位でのHA(VRRP-A)構成が可能です。同一機器内に設定された一つのパーティションがアクティブからスタンバイに切り替わったとしても、他のパーティションには影響を与えません。また、従来のHAが2台での冗長構成だったのに対し、VRRP-Aでは複数台での冗長構成をサポートしています。VRRP-AとADPを同時に利用することにより、複数機器で構成されたパーティション同士での冗長構成が可能になります。

例えばクラウド事業者がマルチテナント環境を複数顧客に提供している場合でも、他ユーザに影響を与えない冗長構成を組むことができます。

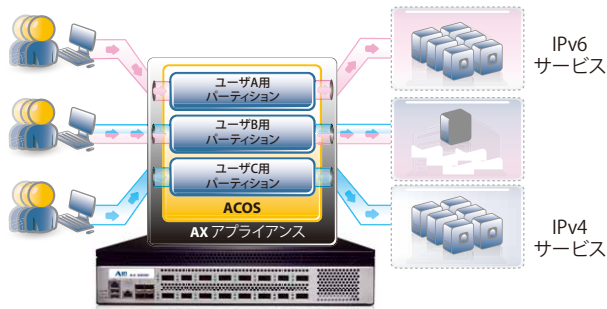


## ■ パーティション単位の管理機能

ADP機能では、パーティション単位で、管理者や読取専用ユーザなどの様々な権限を設定することが可能です(RBA:ロールベースドアドミニストレーション機能)。単一パーティションの管理者として割り当てられたユーザは他パーティションに対する権限を持たないため、セキュリティを確保したマルチテナント環境を提供することが可能になります。

## ■ ADPとIPv6を同時サポート

ADP機能では、仮想パーティション毎にそれぞれIPv4アドレスやIPv6アドレスを設定したり、IPv4/IPv6デュアルスタックを利用したりすることができます。このことにより、マルチテナント内の顧客がIPv4からIPv6に移行する場合でもスムーズなサービス提供が可能になります。IPv6サービス用に新たに機器やライセンスを追加する必要がないため、設備コストを抑えることができます。



## ■ ADPによる柔軟なVMware連携機能

VMwareの管理サーバであるvCenterサーバと連携して動的に仮想マシンの設定やADP自体の設定を制御することができます。vCenterからADPを制御するには、ADPがサポートしているaXAPI機能を使用します。vCenterは、管理する仮想マシンの負荷が急増し、事前に設定された閾値を超えると、追加の仮想マシンを自動的に起動します。そして、ADPはvCenterとaXAPI機能を通じて、追加された仮想マシンのIPアドレスを自動的に設定し、負荷分散対象に追加します。この機能はADP毎に利用することができます。



## ■ ADPによるL2/L3 バージョライゼーション

L2/L3バッチャライゼーション機能により、パーティション毎にL2/L3レベルでネットワークを分割することが可能です。この機能により、各パーティションで重複したIPアドレスを利用可能となり、従来のアドレス構成を維持したままシステムを集約することが可能になります。

## ■ AXシリーズによる耐障害性の高いマルチテナントサービス

A10ネットワークスのアプリケーションプラットフォーム、AXシリーズは、マルチコア・マルチCPUに最適化されたA10の独自OS(ACOS: Advanced Core Operating System)と64ビット対応の専用ハードウェアにより業界最高峰のパフォーマンスを実現します。このためADPによりマルチテナント環境を構築したとしても、集約しても余裕のパフォーマンスで安定したサービスを提供できます。システムの集約と耐障害性にすぐれたシステムデザイン、IPv4/IPv6のデュアルスタックにより将来においても利用し続けられるシステムには、A10ネットワークスのAXシリーズが最適です。

製品の仕様や機能は、予告なく変更する場合がございますので、ご注意ください。

お問い合わせ



A10ネットワークス株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル16階  
TEL: 03-5777-1995 FAX: 03-5777-1997  
Email: jininfo@a10networks.com  
http://www.a10networks.co.jp